

こんにちは 和田あき子です。



秋も深まり、実りの季節を迎えました。

猛暑のなかでの参議院選挙、長野市議選挙で政治を変えるためにがんばって欲しいという大きな期待を日本共産党にお寄せいただきありがとうございます。

九月県議会で決算特別委員会が始まり、十二月県議会までに集めて委員会活動がありますが、税金の使い方を厳しくチェックしてみなさんの願いを实らせるために市議・県議で連携し、市政・県政そして国政につなげてまいります。みなさん、どうぞお気軽にご意見やご要望をお聞かせください。

子ども医療費無料化の拡充を求めて

子どもの医療費無料化の拡充では、東京都が10月1日から中学3年生までの医療費の一部助成をする「義務教育就学児医療費助成事業」を創設しました。また、山梨県では来年4月から乳幼児医療費、ひとり親家庭医療費、重度心身障害者医療費の完全窓口無料化に踏み出します。

国が現在行っている施策で、県の医療費負担が減額に

0歳～3歳未満の医療費を3割から2割に軽減

⇒長野県の負担減 - 2億9千万円

来年度から、3歳以上就学前まで軽減年令拡大

⇒長野県の負担減 - 2億4千万円

*この財源も活用して、県として年令引き上げや窓口無料化を!!

白馬・長野有料道路の無料時間延長を

現在、白馬・長野有料道路（通称:オリンピック道路）は夜10時から翌朝6時までの間、通行料金を無料にする社会実験が行われています。

しかし、通勤時間帯には通常料金になるために、料金所を避けて中条村、長野市七二会の現道への車両の迂回が多く危険です。

関係市町村から無料時間帯の延長を求める陳情もあります。安全確保のために時間延長を求めましたが、これ以上延長をすれば赤字が大きくなるためできないと答弁。

しかし再度、土木委員会で安全の確保を求め、歩道整備などの調査が行われることになりました。

信濃町の産廃処分場
予定地を調査
(10月8日)



佐久市の台風被災地を土木委員会で調査
(9月18日)



浅川に繁っている草木の刈りとりを求めて一般質問
(10月5日)

地域の子育て支援拠点と、病児・病後児保育に1億1千万円の補正予算

6月県議会の一般質問で取り上げた子育て支援対策では、9月補正予算で1億1千万円余が盛り込まれました。地域子育て支援センターと保育ニーズが多様化するなかで病児・病後児保育の支援の充実につながりました。（長野市の18年度まちづくりアンケートでも20代、30代、40代の女性からの要望が最も多かったのは子育て支援でした。）

日本共産党県議会報告

No.4 2007年11月

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行/日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
☎ 026-237-6266 (直通) FAX 026-237-6322
ホームページ <http://www.avis.ne.jp/~up/> E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp

廃棄物条例、森林税、安心なお産など みなさんの切実な声を届けています!

9月県議会特集

日本共産党県議団



須坂病院の産科医確保の要請に訪れたみなさん（9月26日）

9月定例県議会は9月27日から10月15日まで開催され、補正予算では保育や障害者施策、台風災害対策などが盛り込まれました。

日本共産党県議団は一般質問や各常任委員会で、切実な県民要望の実現をめざして質問に立ち、県が策定しようとしている廃棄物条例案、森林税（仮称）のあり方、安心なお産などをめぐって、県民の立場に立った提案を行い、県の姿勢を質しました。

9月県議会補正予算に実った県民要望

- 病児・病後児保育、地域子育て支援拠点の整備⇒1億1千5百万円
 - 台風4号・9号、新潟県中越沖地震などへの対応⇒8億5千万円
- この他、障害者の自立支援、医師確保対策、野生鳥獣被害対策などを充実

県民の意思を反映した 廃棄物条例に

信濃町・飯綱町の処分場予定地を調査

県は廃棄物条例案の骨子を発表。発生抑制の考えをとりやめ、従来、産廃処分場の建設には地元同意を求めています。条例では地元同意書は不要としています。

日本共産党県議団は、信濃町や飯綱町の最終処分場計画に反対している地元の皆さんとともに現地調査し、要望をお聞きしました。住民の皆さんの心配が払拭され、廃棄物の発生抑制と県民参加につながる条例となるよう、ひき続き取り組みます。



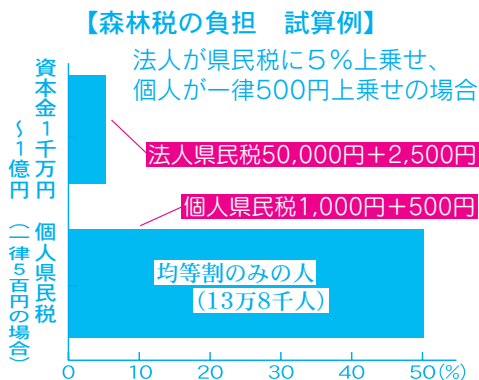
飯綱町の遠山町長(左から2人目)らの要請を受ける（10月8日）

県議会改革 海外視察を来年度も凍結 政務調査費の減額も延長

採択された 意見書等

党県議団が提案した「後期高齢者医療制度に関する意見書」「ハンセン病問題の解決に関する意見書」など、国の政治の見直しを求めた18の意見書・決議が採択されました。

森林税（仮称）は低所得者に負担増 増税つづきのなか慎重な対応を



間伐の遅れている里山整備などにあてるため、県は森林税（仮称）を「県民税の超過課税」として計画していますが、例え500円としても、県民税の均等割のみ（千円）の方の場合5割増になることから、新たな税に頼ることは慎重な対応を求めました。

日本共産党長野県議団

石坂ちほ
(長野市)



総務警察委員会
中期総合計画研究会

小林伸陽
(上伊那)



土木住宅委員会副委員長
議会運営委員会

藤沢のり子
(松本市)



商工観光生活環境委員会

高村京子
(上田市)



農政林務委員会

びぜん光正
(塩尻市)



文教企業委員会

もうり栄子
(岡谷市・下諏訪町)



社会衛生委員会委員長

和田あき子
(長野市)



土木住宅委員会・決算特別委員会・広報委員会